

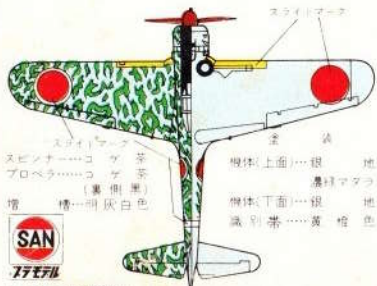
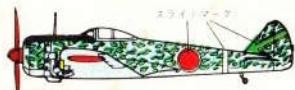
陸軍、1式戦闘機「隼」

97式戦闘機の後を受けて、1,000hpの発動機と引込み脚を採用して、中島航空機で開発された。昭和14年初飛行、昭和16年4月正式採用。1式戦闘機「隼」と命名される。1型～II型～III型と改造強化されて、第2次大戦末期まで第1線機として使用され各戦線にその勇姿をばたいた。合計5,751機生産され同一機種としては零戦については2番目の量産記録をのこした。

全巾 11.44m 全長 8.92m 全高 3.27m
全備重量 2,642kg

2 図

②スライド・マークをはったり、アルサン・プラカラーで塗装すると美しいモデルが出来上がります。

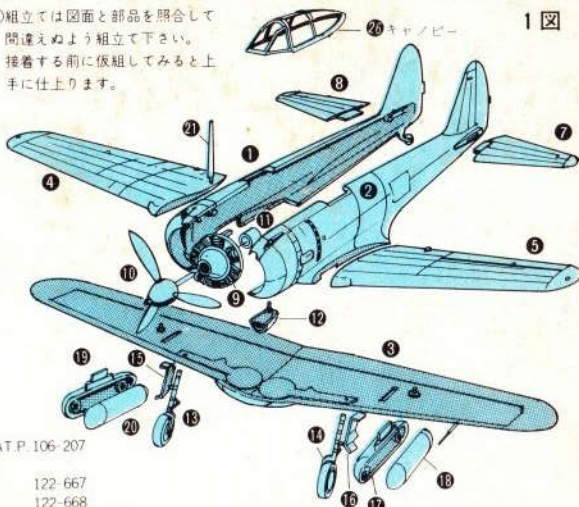


スピナー……コウヤ
プロペラ……コウヤ
（裏側黒）
増槽……明灰白色

機体（上面）……緑地
機体（下面）……緑地
識別帯……黄褐色



①組立ては図面と部品を照合して間違えぬよう組立て下さい。接着する前に仮組してみると上手に仕上がります。



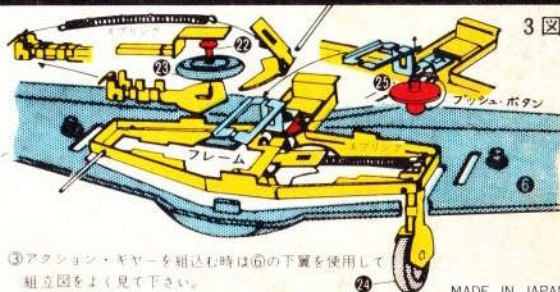
PAT.P. 106-207
122-667
122-668

1 図

- 部 品 番 号
- ①胴 体(右)
 - ②胴 体(左)
 - ③主 翼(下)
 - ④主 翼(右上)
 - ⑤主 翼(左上)
 - ⑥主 翼
 - (アクション用・下)
 - ⑦水平尾翼(左)
 - ⑧水平尾翼(右)
 - ⑨エンジン
 - ⑩プロペラ
 - ⑪ストッパー
 - ⑫空気取入口
 - ⑬脚(右)
 - ⑭脚(左)
 - ⑮脚カバー(右)
 - ⑯脚カバー(左)
 - ⑰増 槽(右)
 - ⑱増 槽(左)
 - ⑲増 槽(右)
 - ⑳増 槽(左)
 - ㉑アンテナ柱
 - ㉒車輪ハブ
 - ㉓車輪(アクション)
 - ㉔車輪(アクション)
 - ㉕ッシュボタン
 - ㉖キャノピー

アクション・ギヤ組立図

脚のとび出す楽しいアクションです。



3 図

- プロペラを
楽しみたい方……1 図
- 機体を楽しみたい
方………3 図
- 機体を楽しみたい
から本機アニア
まで肉だし組立
てられるキット
です。

③アクション・ギヤを組込む時は④の下翼を使用して組立図をよく見て下さい。

1 ブッシュボタンを押すとポン！と脚がとび出します。

2 脚を倒し、脚カバーを押しこむと、パチッとしまり、脚が収納されます。

3 脚のとびだし、収納のメカニズムは、テリケートですから、ていねいに扱ってください。

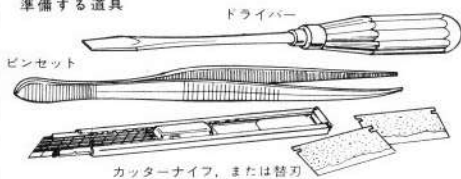
3.7mmスケールのパチパチキット

ボタンを押すとパチッと脚がとびだし、脚カバーを押しこむとパチッと脚がしまる。だから「パチパチキット」とよんでください。

- | | | |
|-------------|-----------|---|
| ① 板バネ 1コ | ⑧ 車輪 2コ | ⑪ |
| ② 脚カバー 2コ | ⑨ 車輪 2コ | |
| ③ 脚柱 2コ | ⑩ 押ボタン 1コ | |
| ④ 翼カバー 2コ | | |
| ⑤ 枠 1コ フレーム | | |
| ⑥ スプリング 2コ | | |
| ⑦ シャフト 4本 | | |

アクションギアの部品と組立て

準備する道具

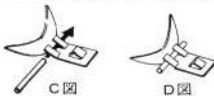


組立

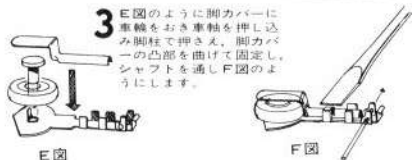
1 コイルスプリングの引掛を作る。カッターナイフ又は安全カミソリの替刃でA図のように外側に開き両端がB図のように仕上げる。



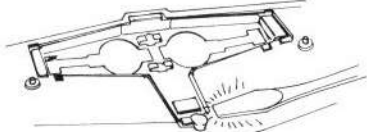
2 脚カバーにシャフトをさし込みD図のようにする。



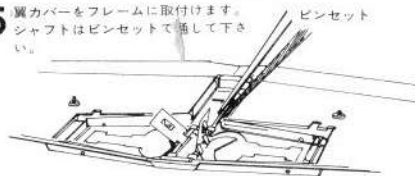
3 E図のように脚カバーに車輪をおき車軸を押し込み脚柱で押さえ、脚カバーの凸部を曲げて固定し、シャフトを通しF図のようにします。



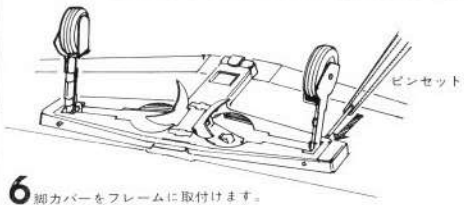
4 下面翼にフレーム(枠)を取付け、翼の凸部を図のように焼いたドライバーの頭でつぶし固定します。



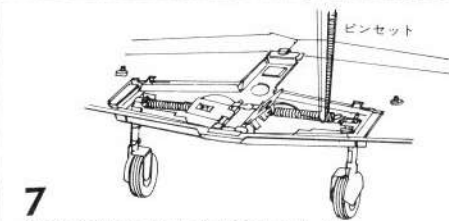
5 翼カバーをフレームに取付けます。シャフトはピンセットで通して下さい。



6 脚カバーをフレームに取付けます。



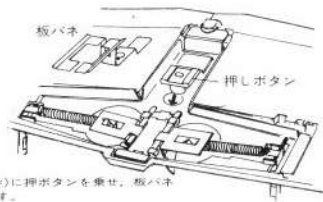
7 脚カバーと翼カバーとをスプリングで結びます。ピンセットでスプリングをはさみ図のように翼カバーのツメにかけ、反対側の脚カバーのツメにかけて結びますが、スプリングをよぶように注意してください。



■パチパチキットはギアアクションがたのしめませんが、この部分は別部分になっています。スケールモデル(1/100)としても忠実なプラモデルです、スケールモデルの組立ては箱のうらをごらんください。

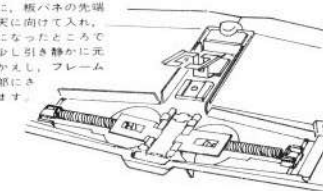
8

フレーム(枠)に押ボタンを乗せ、板バネを取付けます。



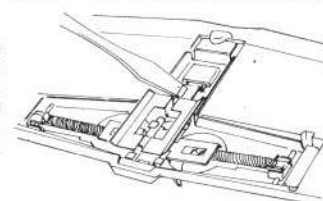
9

板バネの取付けは先づ図のように、板バネの先端をやや天に向けて入れ、たいたらなくなったところで手前に少し引き静かに元へ押しかえし、フレームの凸起部にさしこみます。



10

板バネの取付け部をピンセットでドライバーで圧着し板バネが左右にくらつかないようにする。



⑪これで部品の組立ては完成ですが、胴子を見てから本体に接着します。

上

下

胴

隼2型

